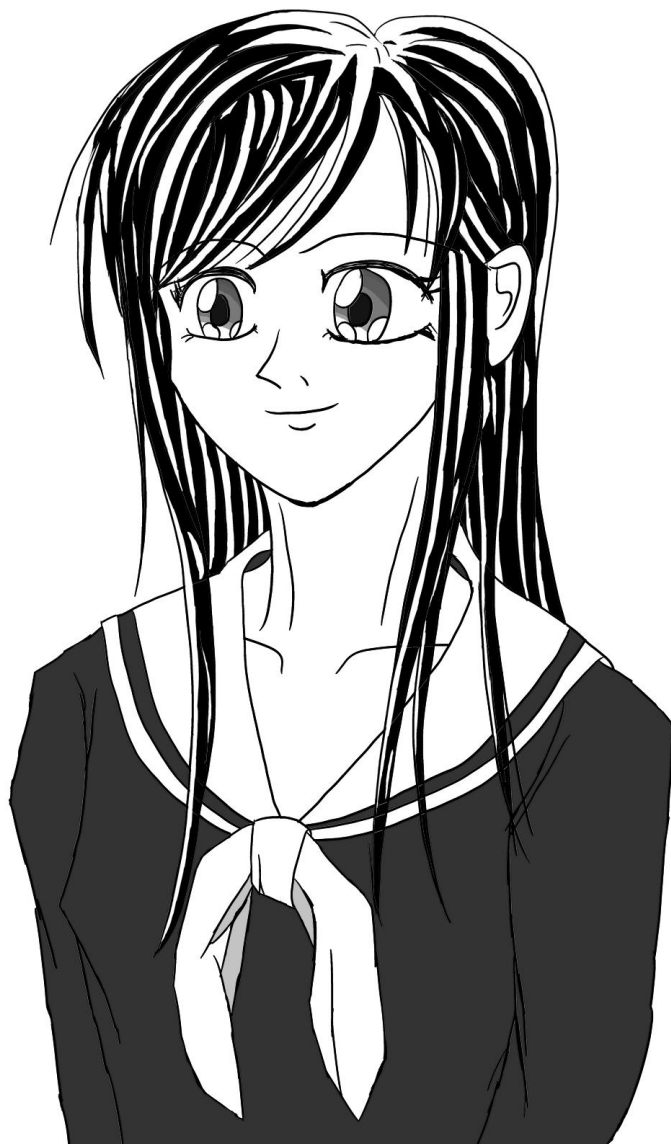


マリア様をみてるのに



マリア様がみてる 第1期 後半 感想本

PARALLEL ACT

はじめに

個人サークル PARALLEL ACT 主催者 TomOne と申します。

今回の本は、『マリア様がみてる』 La vierge Marie vous regarde 第 1 期後半の感想本です。一度、NetNews に投稿した記事の再編集です。基本的に投稿したままですが、多少の加筆修正がしてあります。

また、画像は DVD の該当シーンからの引用です。

それではお楽しみを。

目次

はじめに	i
第1章 各話感想	1
1.1 第8話：びっくりチョコレート・後編 Chocolat étonnant ~ deuxième partie ~	2
1.2 第9話：紅いカード Une carte rouge	8
1.3 第10話：いばらの森 Le bosquet de roses épineux	14
1.4 第11話：白き花びら Les pétales blanches	21
1.5 第12話：ファースト・デート・トライアングル Le premier rendez-vous à trois	28
1.6 第13話：ごきげんよう、お姉さま Bonjour, ma sœur	38
あとがき	47

第 1 章

各話感想

1.1 第8話：びっくりチョコレート・後編 Chocolat étonnant ~ deuxième partie ~

妹に避けられて

祥子さまも案外思い込みが激しいです。

なぜ話してくれないの？

泣いている時ってのは、声が出ないもんです。

それじゃあ、姉妹^{スール}でいる意味が無いじゃない

自分が妹に相応しいかの自信がない祐巳同様、祥子さまも自信がないんですね。選挙の時に「妹は支え」と言っていました、一人で立てる程強くない。

人との付き合いもあまり上手くない、と言うより信頼して、心を開ける友人が少ない。彼女の家庭も家庭だし。恐らく一番さらけ出せるのは蓉子と祐巳。その祐巳が自分を避けている、この不安と絶望は凄まじい物があるでしょう。



図 1.1: 祐巳から目を逸らす祥子さま

一方的に悪者

原作だとヒステリックに叫んでいますが、アニメでは多少声を荒げている程度。原作だと、祥子さまは2階の部屋に、令達は階下と距離も離れていますが、アニメの祥子さまは大人しいです。他のシーンでも。

イライラ

近親憎悪って奴ですね(違 嫌いな奴ってのは、案外自分に似てるものです。

祥子さまも、1年10ヶ月前のことに思いを馳せてたりするんでしょうか？

温室が苦手

アニメだと伏線っぽくなります。理由は3週間後に。

もうすぐ^{ロサ・ギガンティア}白薔薇さまは卒業しちゃう

今日は「夜講」とか言って、しょっちゅう遊びに来そうです。

もう少し本音でぶつかれば

えっと、それは「予告をやれ」と言うことですか？

あははは、うふふふ

さっき泣いたカラスがもう笑った。

このシーンを祥子さまに見られたら完全に破局しそうです(笑)



図 1.2: 青春の1ページ

台所の様子

コバルトには格闘の様子が漫画で載っていたらしいですが、当然のごとくアニメ化されません。その漫画って、もう読めないのかなあ？

アイボリーが祥子さま、^{ロサ・ギガンティア}ブラウンが白薔薇さま
逆の方が良いんじゃない？

びっくりしたぁ

扉を押さえている志摩子さんプリティーです。



図 1.3: やましい物を隠す志摩子さん

温室でお待ちしています

原作だと眉をひそめますが、アニメだと受け流します。

眉を潜めた理由は、単純に「あの場所」だからか、さらりと「思い出の場所」が出たからか。

原作だと、祐巳が宝探しに参加すると言って、祥子さまが複雑な表情をしています。

賭けの対象となるのは神格化されたアイドルのみ。姉妹はそんな事しない、偶像崇拜の対象でない、もっと強い結び付きを持っているもの。未だに自分は祐巳から姉だと思われない。こう思ったのでしょうか？ それとも単純に、「私とじゃなく令とデートしたいの...」だったりして。

宝探しルール説明

いきなり拡声器使ってます。アニメの三奈子さまは気合いが足りないです。

皆さんに探していただくのは、このカードです。

原作では見本のため、青いカードでしたが、アニメだと3色のカードを示しています。ま、どちらでも良いでしょう。

呼び込み

呼び込みするなら、人生最良の日をやる伏線。今週はなかったですが、別の視点繋がりで来週やるのかな？

フェイス・コンタクト

バレバレです。



図 1.4: 流し目祐巳さん

祐巳さん、行くわよ

原作だと、まさに墓穴を掘ってスタートが遅れた由乃嬢ですが、屋内で軟禁されたため、そのようなへまはありません。

金魚の糞

アニメだと1人減って5人ですが、恐いです、こいつら (^_^;



図 1.5: もう1人はスプライト消え

撒いた

原作では、トイレに窓から逃げ込み、追跡をかわすのですが、そのシーンはカットです。作画枚数をケチったのか？ 非常に残念です。

温室の先客

うざわみふゆ
鵜沢美冬/増田ゆき：サクラ大戦の榊原由里、あいまいみいの天和ひびき

来週の主人公です。名前は福沢祐巳のアナグラム - K となっております。

残念がる由乃

アニメの由乃は大人しいです。原作だと、「私が見つけれなかったんだから、黄薔薇のカード発見は阻止できた」とガッツポーズです。

幸せの白いカード

白いカードは委員会ボードです。正直上手いと思いました。案外こういう所に隠した方が分からないものです。

不幸な黄色いカード

田沼ちさと/高橋美佳子：あいまいみいの姫島藤緒、竜崎桜乃、L/R のノエル

原作だと由乃の金魚の糞をやり、じゃんけんの末にデート券を勝ち取るのですが、素直に見つけたことになってます。

後ろ姿だけですが、顔やロリータ服が出ることはあるのでしょうか？

薔薇の根本を掘ってみたけれど見つからないのに

ここも原作と変わってます。ギャラリーを突き抜けて祐巳を引っ張っていったり、祐巳との激しい言い争いがカットです。そこで祥子さまの本性を見せつけられた信奉者があんぐりするんですが、あっさりカードは掘り起こされます。

聖ウォレンティーヌのいたずら

原作を読んだ時、「温室にいた少女は、祐巳の信奉者じゃなからうか？ 祐巳と祥子さまをデートさせたくない、でも、自分は祥子さまとデートしたいわけではない。そのためにカードを隠した」と考えたんですが、見事に外れました。そもそも、祐巳に信奉者がいると考えた時点で間違ってたんですが(笑)

それはピンクの...

原作だと、志摩子さんの捜し物を知っている祐巳が始終対応するのですが、アニメだと志摩子さんが少し積極的です。

あなたが私に作ってくれたものだったら

でも祥子さまの場合、自分の嫌いな食べ物だと絶対に食べないんでしょうね(^^;

びっくりチョコレート

机の上に落ちたのと、床の上に落ちたのを混ぜちゃいかんたろう (^^;



図 1.6: 渡さないと鞭でしばくわよ

おいしいわ

でも、見つからなかったチョコはアイボリーの当たりの箱から。きっと祥子さまの味覚はおかしいのでしょ(違

そんなこんなで、祐巳はすっかり祥子さまとのデートの約束をするのでした。

予告

「おばさん」…… そんな、同人誌でしか使われないようなネタを。でも、祥子さま役の伊藤美紀さんは…… 以下自粛。それに、祐巳は4月生まれらしいので、進級すれば祥子さまと同じ年です。

来週は、「ぱよぱよマリアさま」です(違 これでぷにケもOKです(爆)

総評

紅薔薇中心、黄薔薇・白薔薇はかなり端折られました。ま、いつも通りと。トイレまでカットされたのは残念です。

今後の予定

マリみてDBや、月刊テレビ誌の情報によると、今後は

「紅いカード」「いばらの森」「白き花びら」「ファースト・デート」「ごきげんよう、お姉さま」

となるようです。どうやらデートはやるようです。でも、トライアングルは抜けてそうです。

1.2 第9話：紅いカード Une carte rouge

祥子さんはどうして彼女を妹に選んだのか？

それは、たまたま薔薇の館で押しつぶしたからです(笑)

これと言って特徴のない平凡な生徒

主人公の条件です(笑) 非凡な祥子さまに平凡な祐巳、意外性は黄薔薇ファミリー以上。

美冬の部屋

朝・部屋の風景はアニメオリジナルです。でも、あんたストーカー？



図 1.7: 祥子さんに囲まれる生活♡

このカレンダー、2008年2月の並びと一致します。2004年は土曜日なので、ずらしたんでしょう。でも、建国記念の日が休日じゃないぞ。

不機嫌よう

かわいげのない幼稚園児です(^^;

ついでに、この時の「友子」ってのは今でも同級生ですね。最後にも出てきました。処で、友子ちゃんに「お兄ちゃん」はいますか?(笑)

絵もダンスも負けない
未恐ろしい幼稚園児です (^_^;;

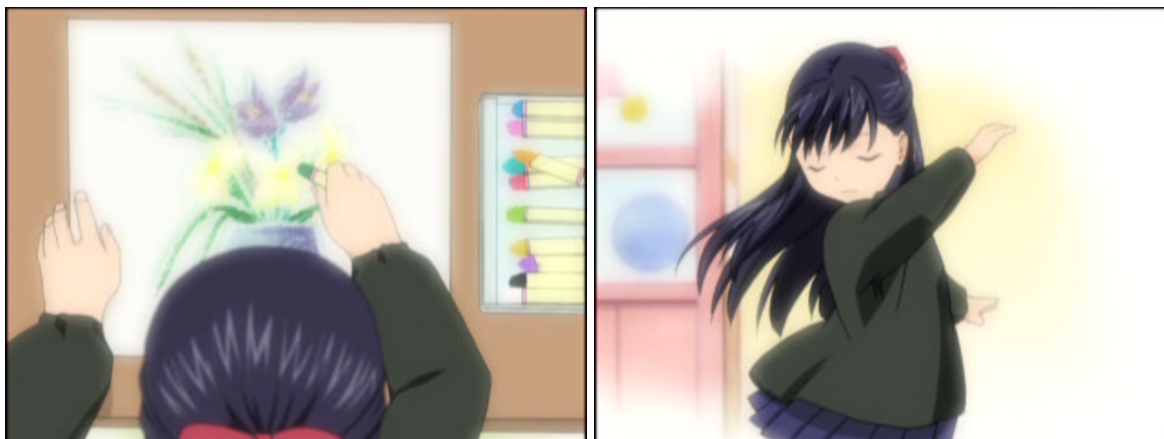


図 1.8: 絵も美麗、手刀も美麗

サンドイッチをナイフとフォークで食べる祥子ちゃん
元々サンドイッチって片手で食べられるように作られたんだけどな～
祥子さまは、この時に笑われて頑張っで手で食べるようにします。



図 1.9: ナイフがないと切れないくらい固いサンドイッチ

美冬さんのモノローグでもありますが、子供は異質なものを排除する性質が強いです。私も子供の頃「仲間はずれがありそうよ」と言って、グループの中で違う持ち物・格好をしているなどの者を指摘し合う遊びをやってました。

それが今では立派な逸般人です(爆)

幼稚園児の眼力

アニメじゃわかりにくいですが、祥子ちゃんに睨まれて美冬ちゃんは手を離します。

祥子ちゃんが嫌悪したのは、アニメでは「立ち漕ぎ」が禁止されていたから、となっています。原作だと「飛び降り」です。映像的には立ち漕ぎ禁止の方が分かりやすいですが、禁止する程の乗り方ではないでしょう。つうか、誰でもやるでしょう。

罰が当たったのよ

罰が当たるってのは仏教用語で、リリアンには相応しくないと考えてましたが、実は仏教には仏罰という考えはないようで。

<http://www.daihorin-kaku.com/buddhism/howa/howa-d3-2004.htm>
とすることで、これは天^{x^h}罰とすることでしょう。

あげるわ

実はハンカチをあげるのは祥子さまの癖です(笑)

I shall return.

さよならは言わないわ。行って参ります。

穏やかで優雅

優雅はともかく、穏やかは違うなあ (^_^;;

どちらかでご一緒したかしら？

幼稚舎の頃など、忘れてる方が普通でしょう (^_^;

ロサ・キネンシス・アン・フウトン・ブテイ・スール
彼女は、紅薔薇のつぼみの妹になりけり

なんか、廊下でロザリオの授与が行われたように見えるんですが (^_^;

ロサ・ギガンテア・アン・フウトン
この下りはアニメオリジナルです。原作だと、白薔薇のつぼみの親友がいなくなった事と、自分の状況を重ねてます。



図 1.10: もうちょっとムードが欲しいわ (祥子さま心の声)

行列

列が大変長くなっております。背中や肩の荷物は手に持つようにして、一步でも、半歩でもお詰めくださるようお願いいたします。

彼女ら、列を作るのが上手いと言うことは、ひょっとして逸般人かぁっ!?

アイキャッチ

なんか不協和音。

私は恐くなった

原作だと、自分だけで段々と迷い出すのですが、アニメだと祥子さんに声をかけられたことが切っ掛けです。なんかすっきり繋がります。

祥子さんは、祐巳さんには隠し場所を教えていたんだ

あの潔癖性の祥子さまがそんな不正を働くはずがありません。その事は幼稚舎での事件で、美冬も目の当たりにした筈ですが、思い至れなかったようです。それだけでも祐巳に負けています。

原作だと、祥子さまが罪を犯したと考えますが、アニメだと祐巳が罪を犯したと考えます。自分と状況を重ねると、次の祐巳への嘲笑と相まって、むしろ自然です。

自分の分身にカードを隠した

それもあるでしょうが、一番の理由は祥子さまと祐巳の共同の思い出の場所だからでしょう。「これがロサ・キネンシス。覚えておいてね」この思い出の場所。

美冬の決意

元々縛る程無かった髪を解きました。昔の、幼稚舎の頃を引きずって、その頃の自分を思い出して欲しい、そうして結んでいた髪。これからは、今、新たなる関係を気づいていこうという決意。



図 1.11: お下げを解くと美人

オーダー

「ファースト・デート・トライアングル」の内容が入ってきてます。これはびっくり。でも、3週間後にアバンで使われそうな予感。

ロサ・キネンシス
紅薔薇さま、人生最良の日

脇役繋がりで持ってくると思いました。血のバレンタインの彼女に、この至福を味あわせないと不憫です。

何であんな変な所にカードを隠したのよ!!

呼び方が「令ちゃん」になってます。由乃、あんたがいつも読んでる本だろうに。

この下校風景はアニメオリジナルです。



図 1.12: 令さまは見下げる対象

お姉さまは、少し鈍感なところがあります。

エスパーなのか、鈍感なのか。まさかこのシーンまで今回持ってくるとは思いませんでした。惜しむらくは、作画が悪いこと。せっかくの志摩子さんが台無しです。

やっぱり気づかなかった

「似た者姉妹」が変わってますね。アニメだと祐巳を姉妹だ^{スール}と認めるモノローグが入ってますが、まるで認めてないようです。

ここで、美冬と祐巳の身長が同じくらいで描かれています。原作だと美冬は140cmで、小柄な祐巳よりもさらに低い筈なのですが。

140cm と言うと、芳乃さくらと同じですね。大体10歳、小5程度です。祐巳の身長は不明ですが、150~155cm とふんでいます。



図 1.13: ヲレも気づかないよ……

その髪型、似合ってるわよ

私的には、切る前、髪を下ろしただけの方が……(*^^*)

原作だと髪まで切ったかどうか分かりません。美冬はこれから、「好きな祥子さんに(振り向いてくれるように)ぶつかっていこう」となるのですが、アニメだと「(失恋したし)身を引こう」とも取れます。

予告

見慣れない顔が2つありますが、最初の褐色の髪の娘が菜んで、2つ目の薄い長髪の娘が聖ですね。

来週は、「マリア様は見た!!」です。

総評

今回、今までと違って元が短い話をじっくり描いているので、とてもしっかりしています。美冬の心情の変化も違和感なく、過去の回想と織り交ぜながら、原作よりも深く掘り下げている部分さえあります。逆に美冬が不憫ではありますが(^^;

普段からこれくらい余裕を持って話が作られていれば。

1.3 第10話：いばらの森 Le bosquet de roses épineux

^{いさぎよ}
潔く、格好良く

聖と朧が、いばらの中を裸で寝ています。この構図よく見ますね。こないだも D.C. ~
ダ・カーポ~のEDがこうだったし。朧結構豊かです<何が? (^_^;;

独白は、原作そのままです。



図 1.14: 少女革命 聖

噂の本

早速出ました。「いばらの森」

クリスマスは好きじゃない

銀杏並木を白薔薇姉妹が歩いています。あれ? こんなシーンは原作には無かったよう
な。それに元々志摩子さんの出番はほとんど無いし。

それはそれとして、何の疑問も説明もなくバレンタインの前です(^_^; 結局順番が
変わったのは何だったのかと。

#制作が間に合わなかったとか(笑)

DVDだとどうなるんでしょうね?

いばらの森購入

原作だと、祥子さまは店員を顎で使い、最後の1冊を購入するのですが、素直に二人とも買ってます。余計な記述はとことん省く方針です。



図 1.15: 祥子さま、ちゃんと買い物できるんだ

サインしてもらうかも

ずれてます (^_^;

あくまで噂でしょ

令さまはアニメだと無関心を装っていますが、原作だと大学の購買部まで買いに行こうとしてたりします。

確かにセイは同じ

シュガー
さとうは外すようです。ま、洒落に費やす時間はないと。

OP・薔薇 ウテナ 川上とも子 シュガーとアレな連想をしてしまった (^_^;

令は語る

原作だと、家で試験勉強中の由乃さんに令が語りますが、薔薇の館で祐巳にも語ります。

粗筋ありがとう

すでに読んだ由乃さんにわざわざ粗筋語らんでも (^_^;

原作だと祐麒との姉弟漫才があるのですが、カットです。そういや、祐麒の出番って朝飯食っただけ? (^_^;



図 1.16: 祐巳ちゃんの太股ハアハア.....

ありがちなラストだったね~

さすが由乃さん(笑)

なんだか、自分と祥子さまに重なる所もあって

これはアニメスタッフ面白い解釈を持ってきました。恐らく、『自分と正反対の~中略~次第に自分の欠けた部分を補うようにカホリの存在が心の多くを占めるようになる』の部分でしょう。

超法規的処置

詳しい話は聞いて無くても、おぼろげながらには聞いている筈。そして最後に心中するなんて話を読めば、手を引きたくなるのも分かるというもの。

ロサ・ギガンティア
白薔薇さまに直接訊くしか!

さすがリミッター外れてるし (^_^;

抱きつき魔

不純異性交遊から、抱きつき魔に変わってます。問題の出来事から距離を置くとともに、映像的にも映える変更です。



図 1.17: 栞は固かったからなあ...

ごきげんよう

忍者にならなかつただけマシです<三奈子さん

ちょっとうらやましかったりして

安心しな。その内呼び出されるから(笑)

さすが薔薇さま

親友を信頼して平然としているように思えますが、「またか」と言うのが真相だったりして(笑)

学園長が庇ってくれて

学園長が庇う重大な理由はまた来週。

制服脱がして遊んだりはしないから

私は許可します(爆)

ふざけたことをおっしゃいますと、お断りいたしましてよ

なんか、原作で怒ってる科白はアニメでは平静で、原作で冷ややかな科白はアニメでは怒ってるんですね。

祥子の反応も楽しい

祥子さま、頬が紅いです(*^^*)

私だけ悪い先輩の餌食だ

こういうギャグ顔は、もうちょっと引いて、回数も多くしないと浮くだけです。

ロサ・ギガンティア

白薔薇さまを喜ばせないようにね

今回、削るばかりじゃないですね。結構キャラを読み取った科白が追加されてます。

自分の意志で残るような娘

私はまだ辿り着いていませんが、彼女は親の反対を押し切ってリリアンに来たらしいですからね。よく言えば心が強い、悪く言えば我が儘

ラーメン

350円。学食としては.....学食の値段なんて忘れちゃったい(^_^;

志摩子さんは凄いよね

色んな意味で(^_^;

脳味噌とけてる

醤油ラーメンで良かった。味噌ラーメンだったら...



図 1.18: 目がとけてる由乃さん

ふたりはブティスール

缶入り汁粉は「ありえな～い」ですか。結構見てる気はするんですが。

「おーいしるこ 抹茶味」缶入り汁粉は良いとして、「抹茶味」って何だ？ 汁粉の抹茶味って何だ!?



図 1.19: 缶入り汁粉！ パパラパッパパ～

睡眠薬

セイとカホリが飲んだのは睡眠薬一錠。そりゃ死なねえわな(^^;

宮廷社突撃

あっさりと乗り込みましたね。しかも制服で。

須加星登場！ 謎は全て...

そんあ、あっさり!!(^^; ;

久保栞登場

久保栞/中川亜紀子：金田一的美雪、マクロス7の少女A、犬夜叉の日暮草太
黒髪長髪だとは聞いていましたが、前髪を切りそろえているとは予想外でした。



図 1.20: 誰、神様との会話を邪魔するのは？

予告

ショートカットの娘は前白薔薇さま？ あ、リリアンの夏服。

総評

リミッター解除された由乃さんの活躍は全面カットされました。やっぱり、とても放送できないんでしょう(違 祐巳の島津家への訪問。そこでの内弁慶と電話術。宮廷社での問答もカットです。

最も、ひたすら止め絵で科白の言い合いになるので、アニメにはなりにくいと思っていましたが。推理や問答シーンなどをごっそり削ったのは潔いとも言えるでしょう。

代わりに、「このキャラならこういう科白を言うだろう」「こういう行動をしてもおかしくない」と言う具合に、シーンや科白の追加が行われているのは面白い所です。

でも、せめて私服で、いつもとヘアスタイルも違う3人は見たかったです。

1.4 第 11 話 : 白き花びら Les pétales blanches

つらい別れを体験した

ロサ・ギガンティア・アン・ブトン
いばらに囲まれる白薔薇のつぼみ。魔女だからと、子供が離れて行ったんですか？

関連なさ過ぎ。



図 1.21: 実はテレ東でヌード

クリスマスキャロルが流れる頃には

ロサ・ギガンティア
白薔薇さまの回想という形を取るようです。分かりやすくして良いでしょう

独白

ロサ・ギガンティア・アン・ブトン
白薔薇のつぼみの独白です。結構綺麗にまとめてます。

あれ、珍しい人がいる

ロサ・ギガンティア
先代白薔薇さまの登場です。名前は勿論苗字も、原作でさえ出てません。

高山みなみ：コナン、人魚の森の真魚、山本洋子、キキとウルスラ



苗字無し ロサ・ギガンティア
図 1.22: 実は桂さんより扱いが酷い先代白薔薇さま

祥子ちゃんは... 構いたくなっちゃうの

ロサ・ギガンティア ロサ・キネンシス・アン・ブトン・ブテイ・スール
白薔薇さまが紅薔薇のつぼみの妹で遊ぶのは伝統なようで。まさか、聖が祐巳をおもちゃにしてるのは、ロサ・ギガンティア先代白薔薇さまのまねとか。

一同会す

テーブルの左の2人は誰でしょう？ ロサ・キネンシス 先代紅薔薇さま・ロサ・フェティダ黄薔薇さま？ 席の配置から言うと、一番左が先代紅薔薇さまでしょうか？ 手前は現黄薔薇さまにも見えなくもないです。



図 1.23: 実はこみパで創作系同人誌を.....

お御堂だと思います

お御堂だと、お寺になってしまうんですけど (^_^; マリみてだと、「お聖堂」と書いて「おみどう」とルビ振ってますね。

当然のように栞はそこにいた

原作だと「奇蹟のように」となっています。彼女の場合、お聖堂にいることの方が当たり前ですから、むしろ適切かと。

何か言われた？

読み返してみると、この頃すでに肉体的接触を... って誤解を生みそうな書き方 (^_^;



図 1.24: 聖はもう私の虜ね.....

雨宿り

雨漏りしてそんな温室ですが、案外降らないもので。

私はいいから、自分の髪を拭いたら？

動いて髪を拭いている栞んのなんて艶めかしいこと!! ロサ・ギガンティア・アン・フウトン 白薔薇のつぼみは何とか堪えましたが、理性が吹っ飛びそうです。



図 1.25: 白ナマコ

なぜ私たちは、別々の個体に生まれてしまったのだろう

それは、互いに惹かれ合うためでは？

三つ編み

アップでは聖 2 本・栞 1 本ですが、後の寝ているシーンだと逆になってます。細かいことですが。これは、髪を絡ませることで、肉体・精神を絡ませることを現わしているんでしょう。



図 1.26: 私も髪のように栞と絡み合いたい.....

妹を持たなくても、それはどうにでもなること

ロサ・ギガンティア・アン・ブウトン

白薔薇のつぼみが妹を持たないことは、山百合会の運営に支障を来す。だから自分の代わりに、ちゃんと妹を持つようなつぼみを探してはどうか？ との提案なのですが、アニメだと説明無いので唐突です。

マリア様がみてる

なら、見てなければよいのね B-p

一つのことのにめり込んで周りが見えなくなるのは寂しいことではないかしら
経験者は語る。

上村佐織/麻生美代子：サザエさんの舟、銀河鉄道 999 のトチローの母

口づけ

隠しましたね。

M 駅ホーム

中央線快速です。私は三鷹駅は 2・3 回しか利用してないので分かりませんが、結構造形はよいらしいです。

約束の時間を 3 時間過ぎていた

原作だと 6 時間です。栞と会った時間の関係？

メモ

ごめんなさい やはりわたしは
あなたと一緒にいけそうにありません。
一度は駅に行ったのですが、あなた

諦めますた……

学園長は菜の保護者です。菜の説得の際に、ひょっとしたら自分の事を話したのかもしれない。そして、このまま駆け落ちした場合、自分達が学園長の二の舞になるであろう事から、離れる決心をしたのでしょう。

高校一年生なのよ

アニメだと立派な大人です。身体も立派な大人です(マテ

遠い所へ転校

長崎ですかねえ。叔父の家があるし、教会も多いし。

さようなら、菜

映像で見ると違いますね。

昔とちっとも変わってないんですもの

幾ら変わってないとは言っても、戦前から変わってないとは思えないんですが (^_^;

学園長がカホリさん

明言しましたね。

この晴れやかな^{ロサ・ギガンティア}白薔薇さまの顔、1年前に学園長が言った科白の真の意味に気づいた顔です。

マイ・ハッピー・バースデー

今週の主人公は白薔薇さまです。^{ロサ・ギガンティア}原作だとこんな晴れやかなシーンはありません。回想として、いばらの森のラストシーンに繋がったからこそできる芸当です。そして見事補完されました。



図 1.27: 実は誕生日だとは皆知らなかった……

原作だと、白薔薇さまが春日せい子さんを案内し、彼女がどこまで気づいたかは分かりません。春日せい子がべらべら喋るとも思えないし。

そして、祐巳がカホリの正体に気づきます。その後、祥子さまといちゃいちゃするんですけど。

視点が完全に祐巳 ^{ロサ・ギガンティア} 白薔薇さまですね。

予告

なんか普通の気が。

田村ちさと嬢、ロリータ服かと思いましたが、なんか大人しめです。相変わらず顔は出ません。でも、なんか太って見えるんですけど (^_^;

三奈子さま、やっぱりあのお姿で(笑)

階段に駆けて行った人誰？

総評

微妙にデッサン狂ってる気が (^_^; 今回、かなり忠実にアニメ化され、突っ込みどころが少なく感想書きにくいです (^_^;;

今回の話、稲垣潤一の「クリスマスキャロルが流れる頃には」がテーマソングではないかと。歌詞を見返すと、通ずるものがあります。

なんか、栞んと志摩子って似てます。敬虔なクリスチャンであり、芯が強い所が。結局、^{ロサ・ギガンティア}白薔薇さまの趣味はそう言う娘なようで。

実は学園長が睡眠薬自殺を図った一人でした。聖を自分となぞらえて、諭していたんでしょうね。栞が賢かったからなんともなかったですが、このまま逃避行を続けていたら、

辛いものになっていたでしょう。保証人もいない女子高生 2 人組なんて、どこもバイトに雇わないでしょうし。運が良ければ事情を聞かずに雇ってくれる所があるかも知れませんが、如何わしい仕事に着くか（栞が許さないだろうな）、貯金も尽きてのたれ死ぬか。

さて、この 2 回において、アニメで追加された何気ない一言が、全てをぶち壊すギャグとなっています。

それは……

由乃さん、あなた「ありがちなラスト」って言いましたよね？

1.5 第12話：ファースト・デート・トライアングル Le premier rendez-vous à trois

オーダー

3週前の復習です。前のままです。

パジャマの祐巳さん

新鮮です。今回、アニメオリジナル多いです。

見ている雑誌は Town Walker No.823 2004.2 定価 300 円。デート特集。2004 年だったんですね。

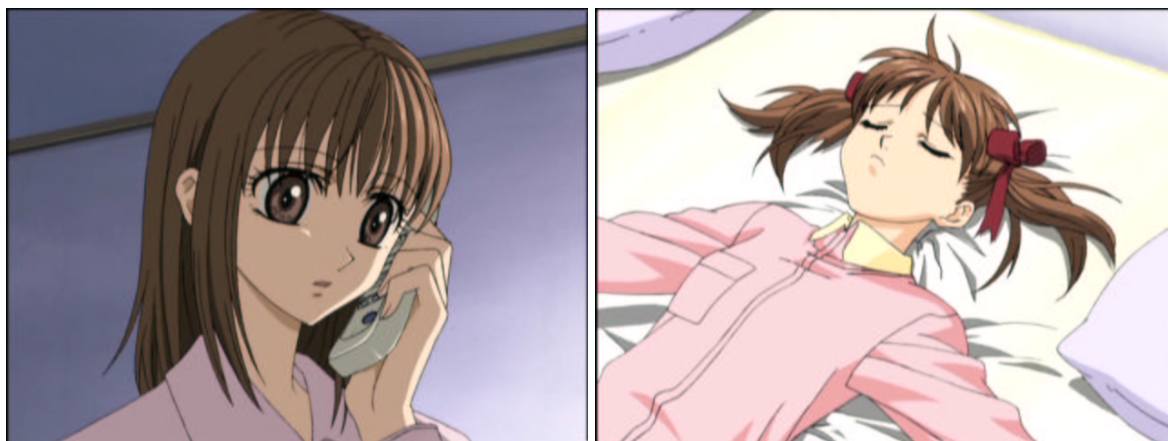


図 1.28: パジャマ新調しました

当日のお楽しみ

口から出任せぼんぼんと。祐巳も案外やります。

このリボン、3話の時のですね。

屈辱的行為

自分の専有物へのチョコの山。そのリスト作り。令さまは何も考えてないでしょうが、かなり屈辱的ではないかと。

最も、原作だと「リスト作り大変」「1ヶ月後のお返し大変」程度しか考えていないようですが。余裕ですね、一人の例外を除いては。

来年だと由乃さんも2年生、貰う立場になります。その時、令さまはどう思うでしょう？嫉妬なんてせずに「由乃が愛されて嬉しい」とか言って喜びそうですが。

握手カット

ここで、原作にはあった祐巳と由乃の友情の確認がカットされています。わざわざ確認するまでもなく、二人は強い友情で結ばれているのでしょう。

どっかのペアみたく「あんたなんかつぼみ同士と言うだけで、友達でもなんでもないんだから」なんて言いません。

要レポート

自分たちのデートをレポートに纏めるなんて、羞恥プレイか何かですか？

1組 3000円

そりゃ、半分学校行事としてのデートに高額出すのは問題ですが、1組 3000円はきついんじゃないかと。せめて1人 3000円くらいなら。

嫌いじゃないけど、少しね

分かりやすくしたためか、志摩子さんの想いが変わってます。

原作だと、静さまの考えが読めず、戸惑っている。アニメだと、少々気が重い。

廊下の生徒

さりげなく制服が間違ってます。この影の具合だと、ワンピースではなくセパレートです。

鳶子さん登場

アニメだと久しぶりです。彼女が新聞部から依頼されたカメラマンだと言うことは、原作だと当日に告げられるのですが、学校で告げられます。

そして、作画悪いです。久しぶりの登場なのに可哀想に。他に静さまも悪いシーンがありました。

祐麒登場

まさか祐麒が登場するとは思いませんでした。朝飯食べただけじゃなかったのね。

姉妹解消と言っても、まあ、祐麒は祥子さまと一つ屋根の下で一夜を共にした仲なので（を、冗談だとすぐ分かります。



図 1.29: アニメの方が出番が多いぜ

震える祐巳

震えるくらい緊張とは（^^； やっぱり、愛しき人との初めては緊張と。今回、祐巳の不安を全面的に押し出す脚本です。

デートの髪型は、リボンを使わないツインテール。これは、原作だと初詣の時の格好です。原作だと髪を下ろしていたので、残念です。最も、髪を下ろしたら祐巳には見えな
い罨(笑)

K 駅

吉祥寺は行ったこと無いですが、北から南を向いた風景なんでしょうね。

ASANOYA とあるのは、ユザワヤなんでしょうね。

平凡

みんな来てます。祐巳さん、あなたは平凡な考えの持ち主です。

蔦子さんのカメラ

Ganon です。

ロサ・フェティダ・アン・フウトン

黄薔薇のつぼみご一行様

吹き抜けホールにいました。令さまはまたボーイッシュな格好で。

田村ちさと嬢はふりひら服です。ピンクハウスかどうかは分かりません。似たようなブランドはありますから。



図 1.30: ご機嫌うるわしゅう 15 年女王様

じゃ、失礼

先週の予告は薫子さんだったんですね。どこのおっさんかと(をつつか、だぼだぼのズボンが...(^^;

ごきげんよう

祥子さま登場です。気合いを入れてるとか言うことは無いんでしょうね。普段からこういうの着てるとか。



図 1.31: 庶民 vs 本物のお嬢様

対比

パンプス vs スニーカー。タイトスカート vs ジーパン。

祐巳はここで自分をみすぼらしく感じていますが、実は来週のデートの伏線です。



図 1.32: 足を隠したい人 vs 足に自信がある人

頑固姉妹

似た者姉妹には気づかず。

ショッピングに慣れてない祥子さま

これが苦勞の始まりだった……

出歯亀由乃さん

段々とリリアンの生徒が集結していきます。



図 1.33: 忍者の任務は偵察

三奈子さま遭遇

原作に比べてギャグ度アップ!! 由乃嬢も丸顔になってるし。

まさか二人の高笑いが見られるとは思いませんでした。川村^ナ万梨^ニ阿^ガ様がみてる。



図 1.34: おーっ！ ほっほっほ!! おーっ！ ほっほっほ!!

本当にどこか行きたい所は無いんですか？

原作だとデートコースは二人で相談して決めてます。

ところが、アニメだと祥子さまは祐巳に完全に依存。祐巳はデートコースを決めていずに行き当たりばったり。

祐巳の、お姉さまに対する自信のなさ、自分が相応しくないと未だに思っていることを強調したいのでしょうか？

原作だと、世間知らずな祥子さまを、祐巳が保護者よろしくぐいぐいと引っ張っていく様が面白いのですが。

いつも祐巳がしているようなことをしてみたいのよ

一見、庶民の暮らしを楽しみたいお姫様に見えます。実際そうなのでしょうが、本当は祐巳に甘えたいのだったり。

ORION

原作じゃパルコらしいです。

風水の本に書いてあったので

エレベーターで最上階に上がって、それから下りてくるのは風水とは関係なしに良くやるんじゃ？ (^_^; でも、風水ができた時代にエレベーターって無かったと思うんですが。

新 或る愛の ロードオブモンスター

えっと、内容は「美女と野獣」でしょうか？ なんか微妙な映画です。



図 1.35: 初デートでファンタジー映画？

ちさと嬢、俯きがちで上目遣いです。とても男にもてそうです。
#でも女には嫌われそうです (^_^;



図 1.36: このままホテルに...

3000 円の予算で映画

高校生だと 1 人 1500 円でしょうか。実は前売り券を買っていたとか、金券ショップでチケット買ったとか、優待券を持っていたとか。あんまり夢がないなあ。割引券くらいは持っていてもおかしくないですけど、せいぜい 100 円だし。

腹ごしらえ

弁当買うならコンビニに入るとは思いますが、デパ地下で弁当と総菜を買おうとは。

デートなのに別行動

分担して買い物くらいなら、そんなに驚かなくても。

三奈子さま遭遇

原作だと寒空の下、駅の外で張っていました。それよりは賢いですが、デパ地下にいると言うのもあんまり賢くないです。

うふうふう.....

エコーまでかかっています (^_^;; 今回スタッフ遊んでるなあ。



図 1.37: お主も悪よのお...

店員うざい

そんなことで沈むなよ > 祐巳 (^_^;

不安な志摩子さん

静さまの真意を測りかねているようです。ま、当然ですね。選挙の時はライバルとして争った間柄ですし。せっかくのデートを薔薇の館で過ごそうとするのも変です。やっぱり未練があると思われるでしょう。

ピーピング由乃さん

覗き見が仇となっています。逆にダメージ食らってます。ちさと嬢もわざとダメージ食らわせようとしてますが。彼女もダメージ食らいます。人を呪わば穴二つ。

ちなみに、原作だとピーピング家なんて書かれていますが、peeping はただの動詞です。

はじめてのハンバーガー

今時の都会在住で 17 歳までハンバーガーショップに入らなかったのはかなり珍しいです。

でも、別に記録を作るために入らなかったわけではないと思うぞ > 祐巳

そう言うや、^{ロサ・キネンシス}紅薔薇さまは連れて行ったりしなかったんでしょかね？ 行ってたら知ってるか。

フォローして頂戴ね

庶民の暮らしについては祐巳の方が先輩。

祐巳い、いよいよ次よ

それに言い方から緊張と興奮が伝わってきます。

私も、中学の時だったか高校の時だったか、初めてマクドナルドに行った時は緊張しましたが。

セルフサービス

そりゃ、店員が持ってきてくれるハンバーガーショップもありますが。

ごめんなさい

祥子さまの怒りは理不尽だと思うぞ。アニメの祐巳は卑屈度上がってます。

ナイフやフォークは付きません

逆に一度ナイフとフォークで食べてみたい気もします。あんまり美味しくなさそうですが。

サンドイッチもナイフとフォークで食べていたのは、こないだの「紅いカード」で映像化されてます。

祥子さま、寿司は箸でも食べるし、実際箸で食べてたけど、おにぎりはどうやって食べるんでしょう？ クレープなんかも手づかみで食べるものですが、はたして？

このまま食べないと意味がないの

なんか意味深です。庶民に、と言うより祐巳と同じ事をしたいという固い信念があるのでしょうか。

こんなデート、嫌になって帰ってしまった...？

祥子さまの場合、祐巳が困っているのは自分の所為だと自己嫌悪におちいっても、呆れて帰ったりはしないでしょう。

来週、「こっちに面白い店があるわよ～」などとひょっこり現れそうな気がします。



図 1.38: 一人じゃ帰り道が分からない.....

キン肉マンジェネレーションズ

えっと、これは新番組の予告ですか？ (^_^;



図 1.39: 日光・月光先輩の想像図

予告

マリみてって、バトルだったのか (^_^;

ファイナルバトル、そりゃ祥子さまは幼稚舎から戦ってましたから。

この予告、何かもとネタありそうな気はするんですけど、分かりません。

総評

鳶子さんと静さまを中心に作画悪いです。

ギャグ度アップ、祐麒登場、祐巳が一人不安がってるのが大きな変更点でしょう。ギャグ度アップは良いとして、祐巳の不安を全面に押し出している事を、どう来週に繋げるのか、見物です。

1.6 第13話：ごきげんよう、お姉さま Bonjour, ma sœur

sœur、oe じゃなくて、œに見えます。WWWの英仏辞典だと soeur と出ます。フランス語知らないんですが、どっちが正しいんでしょう？

不安をさらけ出す祐巳

自分の自信のなさを祥子さまに告白します。

そういや、祥子さまに面と向かって自信のなさを告白するのは、原作でもほとんど出てこないような。アニメでは、ここできっちりとけりを付けたということなんでしょうね。

空は、二人の心を表すような青空です。ところで皆さん、覚えていますか？先週のラストを。そう、先週のラスト、この通りは「アーケード街」でした!! 1週間の間に撤去されてしまいました(笑)



図 1.40: 突貫!!

行け行けゴーゴージャー...(違)

原作だと歩道橋で二人を直接見ながらの悪態でしたが、横断歩道でウジウジしてます。

人生は青信号、立ち止まってなんかいられないわ

立ち止まったぞ(笑)

この赤信号の点灯は、由乃への警告でしょうか?(笑)

志摩子さんのバストショット

フランス人形のような服着てます。容姿的には似合ってると思うんですが、和風キリスト教徒と言う点ではちょっと (^_^; こういう服を持っていたと言うこと自体驚きです。彼女の場合、よそ行きは着物だと思し。あ、カモフラージュのためによそ行き洋服を!?

そして、志摩子さんは結構豊かです (*^^*) (何が? (^_^; ;))



図 1.41: 私の方が勝ったわ

どこまでおわかりになりました?

先週の、静さまが志摩子さんの中身に興味があると言った続きですね。

心を見透かされてる、ひょっとしたら静さまは志摩子さんの事情を知っているのかもしれない。知ってたとしても、それとは関係ない中身を知りたいんでしょうけど。

優等生の仮面の下あなた

志摩子さんの独白が、静さまの指摘に変わっています。でもそれは、心に踏み込まれたとは微塵も思わず、むしろ自分のことを理解してくれて嬉しいという感情になっています。

ついでに、委員会ボードには、環境整備委員会からのお知らせと、リアンかわら版の号外が貼られています。前者、段落で字下げしてないのね。後者、志摩子さんと
ロサ・ギガンティア
 白薔薇さま?

初めての祥子さまを、祐巳がリード

ああ見えて甘えん坊の祥子さま、ここは祐巳が保護者とならなくては。

見る労力が半分になりました。

コミケで途方に暮れる祥子さま。

祐巳「まず、テニプリ以外見なくて良いです。これでスペースが半分以下になりました」

こんな本があったです。

祐巳のと同じ物がいいわ

お子様は、母や姉の格好をしたがるものです。あれ? (^_^; ;)

お着替えタイム

祐巳の頬が紅いです。アニメだと分かりづらいですが、衣擦れの音に聞き入って親父モード入ってます。



図 1.42: 今お姉さまはパンツしか穿いてない♡

ちょっと失礼します

ここの冷や汗は「折って穿くんだけどな～」と共に、「こんだけしか余らないのか～」の二つの意味があります。

とってもお似合いですよ

全身像が出ませんが、スリムな御御足が美しさを醸し出します。

次に行きたいお店

じっと靴を見る。

黄薔薇デートロスト

蔦子さんと三奈子さまの科白が入れ替わったりしてますが、おおむね原作通りです。

実は映画館から出ずに、2回目の上映も見たなんて事は... 流石にないでしょう。

ロサ・ギガンティア
白薔薇さまが存在しなければ

この二人は結構お似合いなので、スール姉妹になれたかもしれません。しかし、ロサ・ギガンティア白薔薇さまがいたからこそ二人は出会えた事も事実な訳で。

アヴェ・マリア

歌っている静さま、なんか顔が恐いです(^^; 髪が頬にかかっているのなんか、痩せこけて見えるし。

スニーカーを選ぶ紅薔薇姉妹

ここから、他のデート（一人デート含む）のカットが挿入です。原作でも無いシーンばかりです。



図 1.43: 勝ち組と負け組

薔薇の館を見つめる志摩子さん

原作では色々な想いで見つめるのですが、流石にアニメでは簡単に表現できません。作画は精一杯志摩子さんの不安と寂しさを表現しようとしています。

理由は訊かない

ただ抱きしめるだけ。白薔薇姉妹らしいです。

仲間はずれがありそうよ

バーガーショップで話したことが、こっちに移されています。

{ サンドイッチをナイフとフォークで食べる 皆と同じになるべく戦ってきた。
 { 祐巳が自分と釣り合うかどうか悩んでた 皆と同じになるべく戦ってきた。

と、「私の方が祐巳に合わせたいの」という流れになっています。でも、それだと祥子さまって幼稚舎からずっと変わってないって事に（^^； いや、否定できないけど（笑）

ほんの少し未来の話

祥子さまが話したかった未来の話とは何なんでしょうか？ 原作だと、この後ジーンズショップに行くので、「ジーンズってどこで売ってるの？」何でしょうけど。

腫れ物

由乃さん自ら出歯亀を告白しました。アニメの由乃さんは強いです。原作だと祐巳が由乃さんをえぐったんですけど（^^；

さらに、祐巳も原作と比べて素直に返事をしてます。

例の店

なるほど、外見はただの洋館です。でも、間違っただけの家に入ったらえらいことに (^_^;



図 1.44: 最初は誰が気づいた？

珍しく諦めがよいのね

今の今まで諦めずに、くたびれた結果がこの喫茶店ですが(笑)

出会いの春

ロサ・キガンティア

白薔薇さまは、志摩子の妹の事を言ってるでしょうね。自分が志摩子と違って変わったように、志摩子にも変わって欲しいと。

田村ちさと来襲

由乃さんこめかみぴくぴくしてます。

アニメだと尺の関係上カットされていますが、原作だと映画見るためにお弁当作ったとか、駅まで自転車で来てたくれたとか、延々とのおろけというか、自慢話が続くのですが。

五回『由乃』って呼んだ

最悪っす>令さま(^.^; 他に話題と言えば由乃のことばかり。令さまの頭の中には由乃しかいません。由乃依存症は相変わらずです。



図 1.45: 令にもてあそばれたちさと嬢

令ちゃんが一番悪い！

こんなシーンが追加されるとはびっくりです。ケーキでフォロー入れようとしてたとは。由乃が直接非難しに行くのはそんなに驚きません。

ところで、何気なくペアリックです。令さまはデートのままなので、由乃が無意識に真似たんでしょう。



図 1.46: やっぱり、由乃の方が相性が良いよ

予行演習

祐巳の髪下ろしキター-----!!

デートの時はツインテールだったので、もう見られないと思ってました。でも、「戦う乙女たち」の時より髪が伸びてるような。

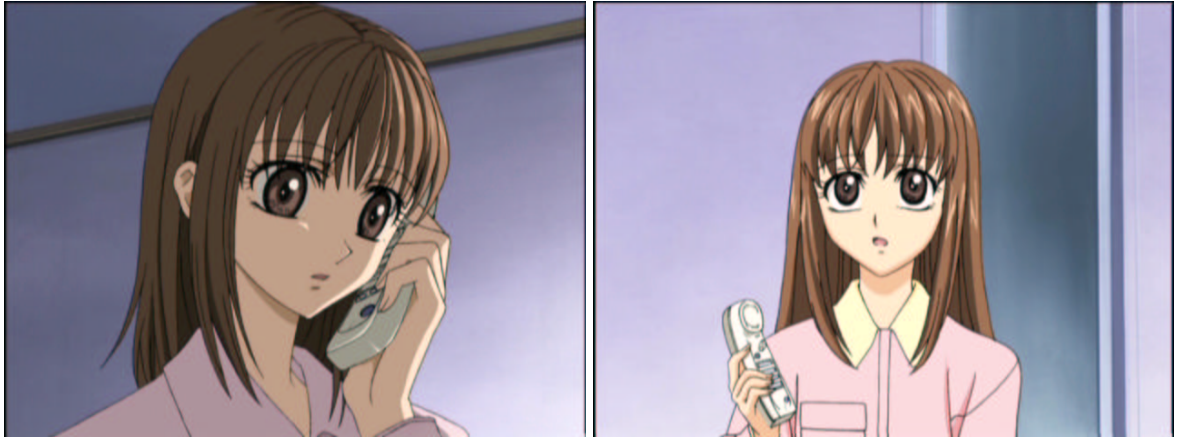


図 1.47: 恐怖、髪が伸びる祐巳!! (当たり前)

予行演習まではしなくても、頭の中で段取りは立てますねえ。しかもあのお屋敷にかけるとなると、かなりの勇気が要りそうです。祥子さま直通電話ってのもあってもおかしくなさそうな気もしますが。

祥子さまも予行演習…… 案外してたりして。祐麒が出たら、面識あるので多少は… 余計緊張するかな？

我が儘でヒステリックな姉

分かってるじゃん。

のろけ

由乃さんと会った後、祥子さまと腕を組んだのろけまで挿入して、幸せを噛みしめます。

そして、上手く「未来の話」とも絡めて、終わりです。



図 1.48: 祐巳、胸が固いわ.....

総評

今回も、良く端折った^H^H^H^H纏めました。原作にないシーンも追加され、結構良い感じです。

全然最終回感じがしませんが、最終回よろしく大事件が(わざと)勃発しても変な感じです。むしろ未来に繋げようとするエンディングに持ってきてます。

第二期があるという噂もかなり飛び交ってますが、実際どうなのでしょう？ 始めるとしたら、やはり最初は黄薔薇さまがロサ・フェティダかましてくれるんでしょうね。

それではごきげんよう。

あとがき

さて、『マリア様がみてる』アニメ版の第1期後半の感想でした。もし1冊にしようとする、120Pと言う、コピーでは製作不可能なボリュームになってしまいますので。

この本の製作ですが、いつも通り L^AT_EX 2_ε です。本文の製作は普段と全く一緒です。

但し、表紙の絵は前回と変えました。前は、ペン入れまでアナログで行い、スキャナで取り込んだ後、PhotoShop Elements で色塗りしました。

それに対して、今回は下書きを鉛筆で行い、COMICWORKS ver2 MAX を使って、ペン入れと色塗りを行いました。このソフト、安くて軽くて覚えやすいという評判を聞いていたので、Comic Studio でなく、こちらにしました。使い方覚える時間なんて無いですから。

150dpi で鉛筆を取り込み、600dpi のインクレイヤーでペン入れです。ある程度慣れるまで3回くらい1から書き直しました。PhotoShop でのペン入れに比べると格段に良いですが、まだ手書きでペン入れの方がしっくりきて、美しい気がします。もっとも、私の手書きのレベルもたかが知れてますが (^_^;

次に、髪の毛のベタです。これはただ塗るだけなんですけど、髪の毛のホワイト。これが難しい。中々綺麗になりません。普段は筆ペンだけでホワイト使わずに一発勝負で塗っていくんですが、今回はベタにホワイトで挑戦です。辛かったです...

なお、この時、ペン画レイヤーをコピーし、ホワイトレイヤーの上に持って行きました。こうすると、主線を消す心配をせずに塗れました。

目は手動でグラデを少々かけましたが、服は色を塗っただけです。あんまり凝っても印刷に出にくいのです。

そして出来たデータを、BMP にして、PNG にして、EPS に..... と出来たら良かったのですが、Adobe Reader で上手く読み込めなかつたりしたので、PSD で出力し、PhotoShop Elements で EPS を生成させました。

次はもっと上手く描けるようにしたいですね。

また、今回から表紙に色紙を使うようにしています。祥子さまはもも色です。さくら色は祐巳で。なにせ祥子さまにさくら色を使うわけにはいきませんから(笑) 次の本の表紙

の人物と紙の色はまだ決めてません。

さて、今後の発行予定ですが、第2期前半感想本を出します。時期は、春を予定しています。コミックレヴューション ファイナルには申し込む予定なので、受かったらそこで出すでしょう。ひょっとしたら、春のサンシャインクリエイションに申し込んで、それで出すかも知れません。

第2期後半感想本は、次の夏コミに出す予定です。

それでは、またお会いしましょう。

2004 / 12 / 25

誌名	マリア様をみてるのに
発行	PARALLEL ACT
発行者	村上 智一 (TomOne)
発効日	2004 年 12 月 30 日 (第 1 版)
URI	http://kikyousakura.ne.jp/~tomone/
E-Mail	tomone@kikyousakura.ne.jp

